

一般質問(要旨)

県有施設の耐震診断結果は
応急活動の拠点でもあり公表

議員(自民) 県有施設の耐震診断結果については早急に公表し災害から県民を守るための情報として活用すべきと考えるが

土木部長 県有建築物の多くが災害時の応急活動の拠点となっていることから、診断結果は県民にも重要な情報であり、

県所有の学校、病院、庁舎等について昨年度実施した結果も含め九月中旬に公表したい。

議員 生徒の学習意欲を高め、学力向上の成果が現れる充実した教育を実施すべきである。

教育長 教員の指導力の向上のため、学校訪問や模範授業により授業の改善・充実を図る。また、授業の中で、児童生徒に理解できたという成就感や満足感



耐震補強工事実施済みの県有施設

を持たせたり、各学校にインターネットで配信した問題を楽しみながら取り組ませるなどして、学習意欲を高めていく。

(ほかに、いばらきの交流人口の拡大と観光振興、多重債務者の救済なども質問)

鹿島鉄道跡地のバス専用道の実現は
茨城空港開港時期を目指す

議員(自民) 鹿島鉄道跡地のバス専用道の実現に向けた見通しは。

土木部長 事業主体は、石岡市、小美玉市だが、協議会の設立に向け準備を進めつつ、茨城空港開港までの運行開始をめざし、

国からの助成などの確保や関係機関との調整、事業実施段階でも、可能な支援を行っていく。

議員 特別養護老人ホームの設置で、個室ユニットケア型施設の建設に限った財政支援が適当なのか見解を伺う。年金しか収入の無い入居者の負担が軽減できる仕組みの構築について伺う。

保健福祉部長 財政支援の面は、多床型のメリットや財源の問題も含め、引き続き国との協議を



構想中のバス専用道(イメージ)

続ける。利用の負担軽減の問題では、問題点の是正を図りつつ、自己負担の軽減など、低所得者に配慮をし、多床型・個室どちらでも利用者の自由選択が可能となるよう国へ働きかける。

(ほかに、がん中核病院として県立中央病院が果たす役割、交番や駐在所の再編整備なども質問)

災害時における要援護者の保護策は
名簿作成と避難支援計画策定を支援

議員(自民) 地震などの大規模災害発生時において、一人暮らしの高齢者などの要援護者をいかに安全に保護するかを真剣に考え対応策を講じるべき。県の認識と対応策について伺う。

保健福祉部長 災害時における要援護者の保護には、要援護者の名簿化と避難支援計画の策定が重要と認識している。名簿については今年度中に、避難支援計画については遅くとも平成二十二年までに全市町村で策定されるよう支援していく。

議員 公用車の燃料代や庁舎の光熱費など県の経常的経費に係る原油価格高騰の影響と対応策について伺う。

総務部長 燃料費と光熱費につ



災害時における被災者保護(避難訓練の様子)

いて六億円以上の負担増となると試算しているが、省エネ対策の徹底などにより既定経費内で対応できる見込み。また、更なる物価上昇に備え、政策的経費に影響が及ばないよう合理化に努める。

(ほかに、霞ヶ浦浄化のための事業の効果的実施、手軽な運動による健康維持、県北地域の振興なども質問)

水戸地域の救急医療体制は
診療科別などの輪番制を検討

議員(民主) 面積が広く医療資源が偏在する一方で、救急患者の受入照会回数が多い水戸地域の第二次救急医療体制の整備が課題である。責任を持って救急患者を受け入れるために病院の輪番制をとることが必要と考えるがどうか。

保健福祉部長 水戸地域は通常の輪番制を実施することが難しい状況であることから、二次救急病院の連携と役割分担の明確

化を図り、診療科別などの輪番制を構築して救急医療体制を強化していく。

議員 ワークライフバランス社会の実現には、社会全体の合意が必要であり、中小企業の参画も欠かせないが、どのように取り組んでいくのか。



救急医療体制の整備を検討

企業自らが働き方を見直すための計画の策定を働きかけている。(ほかに、地方総合事務所の再編整備、こども福祉医療センターの施設改善なども質問)

県北山間地域への企業誘致は
木材関連企業誘致などを積極的に推進

議員(自民) 過疎化の進行に歯止めをかけ、地域の活性化を図るために、県北山間地域への企業誘致をどう推進していくのか。

知事 本年度創設した森林湖沼環境税の活用により、今後多くの間伐材が産出されるので、その活用を提案しながら、木材関連の企業誘致などを積極的に進めていく。

議員 救急医療における県内の

地域間格差是正のため、県北山間地域を運航対象区域とする、本県単独のドクターヘリの導入を実現してもらいたいと考えるが、所見は。

保健福祉部長 この地域の三次救急医療体制の充実のために、ドクターヘリを導入することは効果が大きいと考えられる。七月にドクターヘリの導入について具体的に検討する委員会を設置した。今後さらに検討を進め、



宮の郷工業団地

県としての考え方を示していく。(ほかに、自然環境を活かしたスポーツによる県北振興、おもてなしの心の醸成と住民参加による観光振興なども質問)